

診療局：呼吸器外科

－スタッフ－

役 職	スタッフ名
呼吸器センター長 兼 呼吸器外科部長	桂 浩 (昭和60年卒)
医 長	別所 俊哉 (昭和61年卒)

－概要－

当科は、主に、肺、縦隔、胸壁などの外科疾患を担当し、呼吸器外科専門医認定機構の基幹施設として、泉佐野市、貝塚市、泉南市、阪南市、熊取町を中心に泉南地域の住民に対し、呼吸器外科医療を質の高いレベルで提供することに努めている。

スタッフは、昨年同様、2人体制。当科の特徴として、良性疾患以外に、肺癌を含む悪性腫瘍に対しても、根治性を損なわない範囲で、積極的に、胸腔鏡下手術を導入、低侵襲化に努めている。手術対象例での初診から手術までは、原則、非喫煙者では約2週間程度で、術後は約1週間程度の入院であった。

一方、呼吸器センターとしての体制は、数年来、肺腫瘍内科の常勤医1名のみのままであるが、肺癌に対する術前治療必要例、術後補助療法必要例、再発例に対しては、協力いただいている。なお、呼吸器内科は、寄付講座により外来は再開されたが、いまだ常勤医は不在であり、手術対象疾患の拡大などの点からは、今後の充実に期待したい。

このような診療体制ではあるが、看護スタッフを中心とした一般およびICU病棟、肺腫瘍内科、放射線科、臨床検査科、外来、麻酔科、中央手術部、事務などのスタッフの協力体制により、ほぼ全患者にクリニカルパスを用いて、高品質で均一な医療提供ができるよう心掛けている。

－実績－

2012年1月1日～12月31日

疾 患	症例数
肺癌	36
転移性肺腫瘍	8
縦隔腫瘍	8
炎症性肺疾患	0
膿胸	1
嚢胞性肺疾患（含 気胸）	23
胸部外傷	0
その他の呼吸器手術	10
全手術総数	86
胸腔鏡下、または併用手術	70
手術死亡	0

参考)手術死亡(術後30日以内死亡):0.4%

(2009年全国調査、肺癌例)

【主要施行術式】

肺全摘術：1例

肺葉切除：19例

(superior sulcus tumor 1例は術前治療例)

肺区域切除：8例

肺部分切除：20例

気胸手術：23例（原発性19例、続発性3例） など